

多島造園 環境行動計画

取組方針

多島造園は、「樹木1本、花1輪から豊かな生活環境を造り出す」をモットーに、顧客ニーズにあった事業活動をしています。当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指します。このため、私たちは事業活動に伴う環境への付加を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

取組方針の宣言について

取組方針は、次の事項を考慮して策定・宣言します。

- ① 事業活動中での省エネルギー
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むため、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成27年7月28日

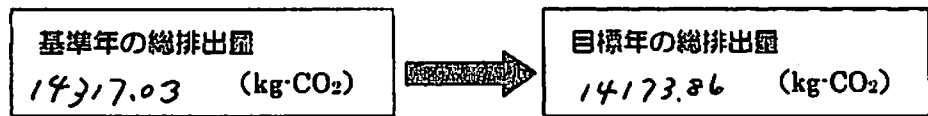
多島造園

代表 多島 昭洋

3 環境負荷の低減目標

年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を¹0%削減する



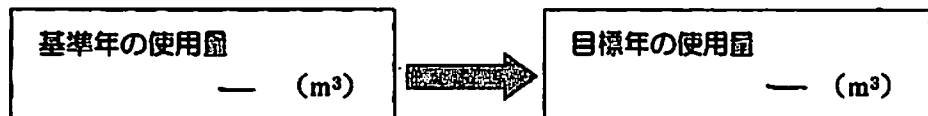
【目標2】 産業廃棄物の排出量の削減と適正管理を推進する。



【目標3】 コピー用紙の使用量を¹0%削減する



【目標4】 水使用量を0%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(事務・部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時 28 度、暖房時 20 度)に設定する
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ 屋休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 休日前には事務機のコンセントを抜いておく
- ・ 作業効率の改善により残業時間を減少させる
- ・ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する

(現場・車両での取組)

- ・ 車両点検を定期的に行う
- ・ 社用車・効率的な使用(運転経路・相聚り)を徹底する。
- ・ アイドリングの防止と無駄の燃料・エネルギー稼働を削減する
- ・ エンジン機器の効率的な使用(作業手順の確認)を行う

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- 廃棄物の分別仕様や置き場を整備する
- 作業工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ウェス、作業手袋は使用限度を定め無駄に破棄しない

(一般廃棄物)

- 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- 両面印刷、両面コピーを徹底する
- 使用済み用紙の裏面を利用する
- 書類、資料の電子データ化を進める
- コピー機の使用時、設定を再確認する

【取組4】 水使用量の削減

- 配管からの漏水を定期的に点検する
- 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- 水道蛇口に節水こまを設置する

5 環境行動計画の実施体制

代表を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。